

# 祐善寺だより

第21号

発行日

2008年10月22日

真宗大谷派 祐善寺 住職/岡崎 賢 福井県丹生郡越前町上糸生・森 TEL 0778-34-5170 FAX 0778-34-5170



## 顔

仕事は  
なんでもいい  
一生けんめいに  
生きている人の  
顔は  
みんな美しい  
美しい顔に  
なりたい

相田みつを

## 報恩講に憶う

住職 岡崎 賢

今年も間もなく親鸞聖人の報恩講が勤まります。昔から、「お寺のホンコさん」と呼ばれ、慣れ親しんできた報恩講です。お寺での昔話では、必ずと言って良いほど、「子どもの頃に、おば(祖母)にお寺のホンコさんに連れてきてもらうて、場売り(露店)で、オモチャや焼まんじゅうを買ってもらったことが忘れられん」と言うお話を良く聞きます。お盆やお正月等に田舎へ里帰りして来られた方が昔話をされる時にも、本当に懐かしそうに「ホンコさんの場売り」の話話を語って下さいます。

くなつたからでしょうか？私は、決してそれだけではないように思います。

昔は確かに娯楽が少なく、お寺の報恩講は、老若を問わず、とても楽しい年中行事であったのだと思います。お寺の報恩講の来るのが待ち遠しかった昔は大家族でしたから、おじいちゃんやおばあちゃんに連れられて、お孫さんまで家中でお寺の報恩講に参詣したものです。そのような光景も、今では見られなくなつてしまいました。

日本は、第二次世界大戦の敗戦を経て、昭和四十年代後半から始まる高度経済成長期で世界のトップクラスに躍り出るほどのめざましい経済成長を成し遂げ、どの家庭も経済的にはどんどん裕福になつてきました。そして、それと反比例するように、日本人の精神状況がどんどん荒廃していったのです。そして、今や、物を粗末にする使い捨ての時代、子が親を殺し親が子を殺すというように生命が極端に粗末にされる時代になつてしまつたのです。いわば、戦後日本の経済至上主義は、日本人の精神構造までもズタズタに切り裂いてしまつたのです。

何故なのでしょう？昔は、お寺の報恩講に場売りが並んでいて、オモチャや焼まんじゅうを買い求めるという楽しみがあつたという理由だけなのでしょうか？今では、場売りも来なくなつたから、お参りがなくなつたのでしょうか？仕事で忙しくて、寺に足を運び暇がな

私はお寺の報恩講に、昔のように家中で参詣するような光景がなくなつたのは、このような時代状況がくつきり反映しているように思えてならないのです。

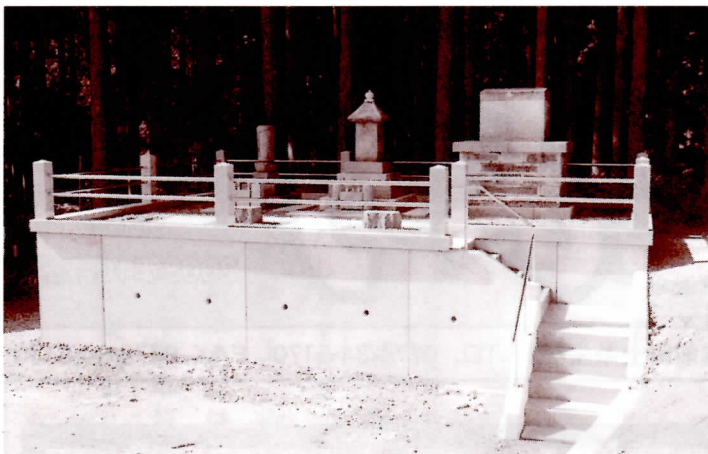
報恩講は、寺では最も大事な御仏事であると同時に、人々のいのちの交流の場でもあるのです。

私は、これからの行き着く先が怖くありません。なぜなら、老若を問わず、人々の精神状況が、どんどん荒廃していつているように感じているからです。

# 祐善寺総墓移設事業竣工

かなり以前からご門徒の皆様を中心に掛けていただいております。祐善寺総墓の移設事業が、この程立派に竣工しましたので、その経過についてご報告します。

数百年前からのご先祖様のご遺骨が眠る祐善寺総墓が、小川地区の祐善寺跡地から現在の境内に移されたのは昭和二十六年のことでした。それから既に五十有余年が経過して



立派に移設が終わった総墓

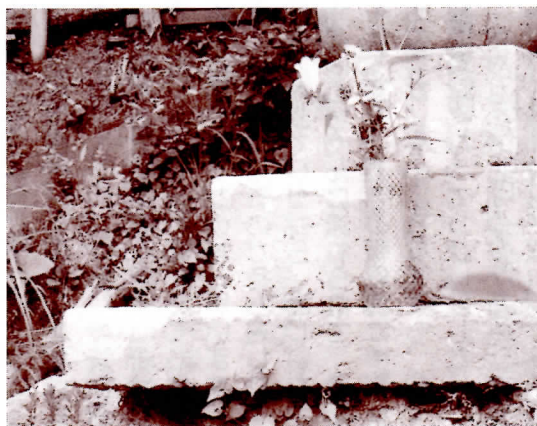
るため、墓所の土が永年の雨水に流されて、近年では倒壊の恐れさえ感じられ、ご門徒様にもご心配をおかけするようになってきたわけです。こうした状況を受けて、平成十九

年六月二日の祐善寺役員会の場での対応策について協議の結果、渡辺弘毅筆頭総代をはじめとする五名の役員によって総墓改修事業準備委員会(仮称)が設置されました。その後六回にわたって準備委員会並びに役員会で原案について協議を重ね原案をまとめました。本年一月二日の門徒総会でご決議いただきましたのは次の通りです。

- ①現在の駐車場西北部へ移設
- ②工事費は二百八十万円以内。  
(祐善寺積立金から百万円、  
住職五十万円、門徒一戸平均三万円)
- ③平成二十年十月中に完工。
- ④詳細については役員会に一任。

これを受けて、何回も役員会を開催する中で工事仕様や施工業者など詳細を決定し、ようやく五月三十一日に起工式を挙行しました。その後、施工業者安井石材店と森下組のご努

力によって、この程立派に工事を終えることが出来ました。ご先祖様のご遺骨は、きつと安心なさってお眠りいただいていることと存じます。



崩れそうになっていたこれまでの総墓



雨降りや日照りの中での移設工事

## 祐善寺総墓移設事業 御懇志の御礼とお願について

住職

祐善寺総墓移設事業は、皆様のご懇念によりまして、このほど、立派に竣工させていただきましたことができました。本当に皆様のお力添えのおかげと、深く深く感謝申し上げます。

また、その節には、早速ご丁寧なご懇志を賜りまして、本当にありがとうございます。

ご門徒の皆様には、私が住職に就任させていただいた後、度重なるご懇志をお願いしまして、心より申し訳なく、また、誠にもったいない気持ちでいっぱいでございます。

このたび、皆様のご懇念を結集させていただいて、祐善寺の総墓を思い切って安全な場所へ移設させていただきましたことができましたことは、何よりも私どものご先祖様が、安堵なさっておられることとございます。本当にありがとうございます。

なお、ご門徒の皆様からのご懇志(一円三万円)がまだ目標額には届いておりませんので、未納のご門徒の皆様には、出費ご多端の折り、大変心苦しいと思いますが、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

# 花だより



花びらが欠け落ちたようで遠目にはさびしい感じのこの花は、子どもの頃からあまり好きではなかった。だが何かのついでにカメラで撮ってパソコンで処理していた時、画面いっぱい映し出されたユキノシタの花の華麗さに圧倒された。それは丁度、おとぎの国の白雪姫の冠を思わせる程の華やかさと可憐さを兼ね備えていた。

『そうだったのか……。お前がこんなにも可愛くて綺麗だったとは今の今まで気付かなかった。悪いことをしたなあ。』

長年、この花の美しさに気付かないまま過ごしてきた自分のうかつさを恥ずかしく思うと同時に、花に限らず人についても、ちよつと見ただけであの人はこんな人などと勝手に決め込んできたこともあるのではないかと気になった。

今日はこの花に人として大事なことを教えてもらったような気がして、嬉しくなった。

## りしーずいろう 芋ヶ平蓮如上人の 旧跡を訪ねて

上野 保雄

先日友人と二人蓮如上人旧跡である昔の宅良村の芋ヶ平を訪ねました。昭和三十年頃、両親が近所の方々数名と参り、上人のご苦労された話をきいた覚えがあり、交通の不便な当時どうして参られたのか、おそらく遠路歩いての参拝と思います。今庄より日野川を渡り東へ約三〇分程走った所に芋ヶ平と云う地があり、今は皆移住して一戸もない山奥で、広場の高い所に蓮如さんの旅姿の大きな石像が建ててあり、その下に碑文があり原文のまま紹介します。  
〔文明三年初夏中旬の本願寺破却の

際、蓮如上人叡山の僧兵に追れ芋ヶ平迄難をのがれたとき、畑仕事の老婆に導びかれ岩穴の中に一時身を隠された。老婆は三度の飯の世話を受け、やがて上人出立の際、老婆に對して『汝我が命の親なりよい形身を得させん』と六字の名号を与へられた。これを岩屋の名号と稱して今に伝へられている。』

岩屋の洞穴はそれより三百メートル程離れた山の中で車で登れます。蓮如上人芋ヶ平旧跡として現在も残っています。

真宗本願寺が叡山の僧兵により焼討され、金森堅田の門徒衆も僧兵と戦ったのですが利あらず、蓮如は北陸に逃げる道中であつたと思われます。その後蓮如は吉崎で精力的布教に専念し、滞在四年にて真宗本願寺の再興の基礎をつくられました。

## お・た・よ・り

松島 一夫 松原市

暑中お見舞い申し上げます。  
何時も『祐善寺だより』を御送り下され、有難うございます。

何歳になり何処に住もうとも生れ在所は只一つ悠久の天地の中に有り、その原風景に「森のお寺さん」が有ります。御位職の説かれる「いのちのふるさと」に思いを致して居ります。有難いことでございます。御一同様の御健勝を念じ上げます。

## 感謝! 真夏の草刈り作業奉仕

今年の夏は、記録的な猛暑でしたが、その暑さの中、七月二十日(日)に寺周辺の草刈り・剪定作業が、ご門徒さんの奉仕によつて行われました。三十度を超える文字通りの猛暑日でしたが、小倉地区、大城野地区のご門徒さんに、有志で福井地区のご門徒さんや役員さんも加わっていただき、皆さんで分担して長く伸びた雑草や庭木を手際よく刈つて下さつて、お陰様でみるみるうちに涼くさっぱりとなりました。

作業中、数人の方がハチに刺され大変申し訳ございませんでした。草刈り作業が終了後、一時間ほど経つたら雨が激しく降り、とてもラッキーでした。  
猛暑の中、草刈り・剪定作業を奉仕して下さいました皆様に、心より御礼申し上げます。



猛暑の中での草刈り奉仕

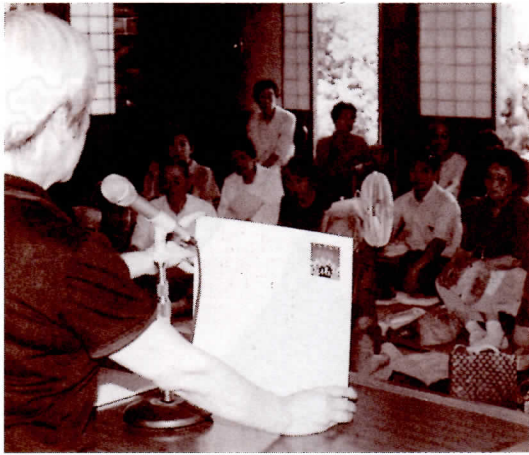
寄稿

永代経会での紙芝居

鯖江 桑原 文字

永代経会が勤まった八月七日、祐善寺の本堂という、とてもゆたかな場で、私は参詣された方々の前で紙芝居をさせていただく事ができました。これもご住職様のお取り計らいのお蔭です。ありがとうございます。

この紙芝居を作成された方は、「仏の子を育てる会」の代表、藤枝宏寿氏で、「いのちを見つめる紙芝居」の中の「いのちのちつてふしぎだな」のお話しを今回させていただぎました。見にくかったり、聞こえづらかったりしたと思いますが、最後まで見てくださいますようお願いいたします。



紙芝居に聞き入る参詣者

ました。紙芝居を見られて、どのよう感じられましたでしょうか。現代は「いのちを大切に」といいながら、案外そのいのちの根っこが見えていないのではないかと思われる事件などがよく報じられています。幼少の時期から、いのちのつながり、深さを見つめる環境づくりが大切でしょう、と藤枝氏は言っておられます。本場にその通りだと思います。この紙芝居と出会えた事を嬉しく思うと共に、多くの人の目にも触れてほしいと思いました。

寄稿

永代経でのこと

森 木下リツオ

きびしい暑さも何時の間にか過ぎ去り、秋に成って行くのがなんだか淋しさを感じます。

今年の夏は格別の猛暑で八月七日の永代経の日も朝から暑く、皆さんこんな暑い日にお参り下さるかとお心配をしていました。ところが沢山の参拝お客様で嬉しく御先祖様の強さをつつく感じました。余り有難く両手を合せて拝み、嬉しさに涙が出ました。おとぎの時にずりりとならぶ顔と顔。なじみの人はかり。皆さん良く

お参り下さいました、有難うございます。祐善寺の住職も奥様も汗を長し乍らお給仕をしていらつしやるお姿を見て感動しました。皆さんが「おいしいおいしい」と云って下さるその言葉で、私は胸が一杯で感無量でした。お寺様のお世話をさせて頂き、そして人に喜んで頂き、知らぬ間に口に出たのは「南無阿弥陀仏」の一言でした。こうして長い間お世話を見せて頂いたのも、お寺様そして門信徒の皆様のお陰様と深く感謝しております。有難うございます。今後共祐善寺を可愛がって下さいませ。そして一度でも多く足を運んで下さい。私も八十三才にも成りましたが、出来る限りは一回でも多く参らせて頂き、少しでもお手伝いが出来れば幸せと思い頑張っています。皆様もどうぞ一回でも多くお参りをして戴ける事を願っています。

おくやみ

駒 英三様(越前町天谷)には、平成二十年八月十一日、行年七十歳にて往生の素懐を遂げられました。ご生前中のご功勞に、心より深謝申し上げます。



平成20年度護持費の志納よろしくお願いします

祐善寺を永代に互って護持していただくために、護持費をお願いしておりますが、今年も次のおりご志納下さいますようお願いいたします。

◇護持費の使途

- ・ 報恩講の厳修費や教化事業の実施
- ・ 本堂を守る火災保険や環境維持費用
- ・ 本山相続講、福井教区賦課金等
- ・ その他

◇年額

一戸平均 一〇、〇〇〇円

◇志納方法

- ・ 寺へ直接志納する
- ・ 秋まわりや法事で住職が貴家を訪問の際に志納する
- ・ 地区の役員さんに志納する
- ・ 郵便振替口座 (〇〇七七〇一九一三〇七二一)
- ・ 加入者(祐善寺)

◇志納期限

毎年十一月末日

へ振り込む

第6回

御文講座

聖人一流の章(1)

聖人一流の御勸化のおもむきは

親鸞聖人が広めて下さった教えの根本は

信心をもって本とせられ候う

信心と云うことが最も大事であるということ

そのゆえは

もろもろの雜行をなげすてて

何故かと言うと、他の教えには興味を持たず

一心に弥陀に帰命すれば

ひたすら阿弥陀様にお頼みすれば

不可思議の願力として

不可思議なる本願力のはたらきによって

佛のかたより

往生は治定せしめたまう

仏様の方から往生を定めて下さるから

其の17

仏事一口メモ

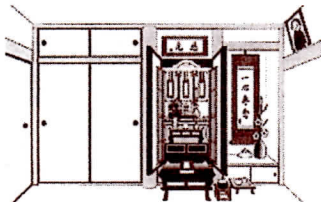
仏間をつくる

お内仏が安置されている部屋を仏間といいますが。何代も続いているお宅では、多くの場合、独立して仏間があります。昨今のアパート・マンション等の住宅では、お内仏を安置できるような造りになっていません。床の間もない場合もあるようです。

こうした住宅事情のなかで、タンスなどの上に置くことのできる小さいものや、部屋にマッチした家具調のものも流行りのようです。いざれにしましても、お内仏を安置する部屋は、客間や居間と兼用であったとしても、仏間であることに違いありません。

仏間は、手を合わせお勤めするところです。仏法職間の場でもあります。ですから、部屋の飾りなども、浄土真宗にそぐわないものを避け、浄土真宗に適したものにします。私たちの手で浄土真宗の仏間を作るのです。その

仏間からまた、浄土真宗の教えが伝えられるのです。



お内仏を中心とした仏間の一例

○注意すべき点を記します。

遺影

遺影は、お内仏の真上には飾りません。遺影がご本尊の上になってしまい、どちらが礼拝の対象なのか曖昧になってしまつからです。遺影を飾る場合は、真上をさけ、横に掛けます。もし真上に飾り物をする場合は、仏語(仏さまの言葉)を掲額するようにします。

床の間の掛け軸や額

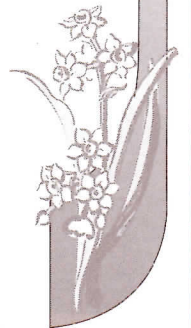
床の間がある場合には、教えが書かれたものなど、浄土真宗に相応しいものを用意します。年中掛けっぱなしにするのではなく、行事毎や四季毎に取り替える工夫があつてもよいでしょう。

浄土真宗以外の仏・菩薩の絵像や十三仏絵像、天照大神など、他宗教・他宗派のものは床の間に掛けません。また、除災招福の縁起物や祈禱札なども置けません。

いただいた物

頂戴した物やお土産品などは、一度お内仏にあげ、手を合わせて、仏さまからのお下がり物としていただきます。私たちは、いのちをも仏さまからいただいているのですから、お内仏中心の生活を心掛けたいものです。備える場合は、お内仏の中には入れず、お内仏の外に備えます。

# お知らせ



## 報恩講御案内

十一月二日(日)

日中 午前十時

御齋 午前十一時半

逮夜 午後一時半

満座 午後六時半

布教 平等明信師

つきましては、親鸞聖人の御遺徳を偲び、右の通り報恩講を厳修いたしますので、万障お繰り合わせの上、御家族、御近所、御法友お誘い合わせの上、何卒御参詣下さいませよう、御案内申し上げます。

### 真宗大谷派福井教区 第四組報恩講

とき 十月三十日(木)

午後二時

会場 祐善寺本堂

講師 戸次公正師

(大阪・南溟寺住職)

右の通り、大阪より戸次公正師をお招きし、福井教区第四組報恩講を、祐善寺を会場にして開催されますので、どうか御参詣下さいませよう、御案内申し上げます。

※福井教区第四組とは：

鯖江市・丹生郡・福井市のそれぞれ一部のお東の寺院十七カ寺で構成されています。

報恩講は、毎年十月三十日に会場を持ち回りで開催しています。

### ボランティア募集

## 雪囲い作業

■とき

十一月九日(日) 午前八時～正午

■持ち物

軍手、鎌(カッター)

雨合羽(雨天時)

■昼食

用意させていただきます

■作業内容

雪囲い作業は高所での作業もありますが、慣れておられない方は下で雪囲いシートのヒモ結びや資材運び等の作業もありますので、時間の都合が付く方は、どうか、ご協力をお願いいたします。  
■申し込み  
大変ご面倒ですが、十一月六日までに寺までご連絡いただけますと、有り難いです。



## 編集後記

★正月決議されました総墓移設工事も立派に完成致し、報恩講には門徒の方々にお参りして戴けることご同慶の至りで無ご先祖様もお慶びのことと思います。本当に有難うございました。

★近い内に総選挙があるこの事。政治も経済も社会も、今は何を信用して良いか判別のつかない世相になりつつある。恐しい事である。灰俵を叩けばいくらでもほころぎ出るのだろうか。ねじれ国会などもう真平である。よく心して一票を投じたいと思う。

★連日殺人事件が連鎖反応の如く起きています。このように、悲惨な事件が日常茶飯事的に起きている。どこか社会の歯車が狂っている。一日も早く正常な社会に戻ってほしい。

★明るいニュースでは、我が故郷より北京パラリンピックに、牛越の高田さんが前回に続き車椅子の競技に出場して銀二個、銅一個のメダルを取られました。最後迄諦めない根性で頑張った結果で、素晴らしい快挙です。吾町の誇りで心より喜び申し上げます。(Y・U)